

KON'S TONE II

PART 3



日誌

2 0 1 0

三月二十六日(金)

8時起床。曇天。昨日より遙かに暖かい。うどんをいただく。歩いてS病院へ。10時に自動受付で受付表をもらってレントゲンへ。さほど待たずに撮影。呼吸器科に受け付け。予約の10時半から30分待って、名前を呼ばれる。「急患が入ってまだ20〜30分かかりそう」とのこと。やれやれ。表で煙草を吸って再び待合室へ。結局12時近くになってようやく診察。レントゲンを見ると、左肺の下部先端のシルエツトが鋭角に戻ってきている。悪くない。このまま経過を見るということに。後は1ヶ月後にCTの予定。

吉祥寺ヨドバシカメラへ。ウィンドウズのノートパソコンを買う。帯に短したすきに長しだが、モバイルという条件を外して、少々大きめのVAIOにする。15万なり。ウィルスバスターとATOKを合わせて買う。締めて16万。会社の近くで総菜パンを買って出社。パソコンの教育を始める。再起動は100万回。リカバリディスクも作成。今度はDVDで5枚もかかる。



三月二十八日(日)

10時過ぎ起床。棒ラーメンをいただく。コンテの合成。絵が出来てくるのは楽しい。夕方買い物。びっくりするほど寒い。駅前の本屋で伊坂幸太郎の新刊と岩村暢子『普通の家族がいちばん怖い』の文庫を買う。食材を買って帰宅。脚の調子は相変わらず悪い。駅前の御輿がうるさくて仕方ない。入浴。買ってきた総菜、トンカツなどで晩酌。刺身で御飯をいただく。満腹して眠気到来。ぐっすりと2時間ほど眠る。

F1オーストラリアグランプリ。いつも荒れるオーストラリアグランプリが雨の影響もあってさらに荒れる。スタート直後の第一コーナーでアロンソ、シューマツハの接触に始まり、リタイアやクラッシュが続発。さらに雨。決断良くドライタイヤに履き替えたバトンが優勝、ルノーのクビサが2位、3位マツサ、4位に這い上がったアロンソ、5位に猛追のハミルトン。読書して就寝。



四月九日(金)

11時起床。晴天。たらちりの残りうどんを作ってもらおう。美味。新中野駅のそばでお菓子やらウイスキーを買って出社。コンテ合成。晩御飯はラーメン。身体のアちこちが痛いので痛み止めを服用する。コンテ合成を続ける。雲の処理が厄介、というより上手く行かなかつた。あきらめて本番でなんとかしよう。終電帰宅。ミートソースをいただく。

四月十日(土)

10時過ぎ起床。晴天。コンテ合成を少し。ミートソースをからめた焼きスパゲティで御飯。出社してコンテ合成。夕方には一通り、絵の合成は終了。後はキャプションと尺。ひとまずデータをサーバに移し、プリントアウトしてもらおう。晩御飯は「てっぼう」で飲み。仕事場に戻って飲みつつ雑談。タクシー帰宅。



四月十一日(日)

13時起床。よく寝た。棒ラーメンをいただく。身体の調子は相変わらず。コンテのキャプションを書く。夕方買い物。スーパーでDVD『ヤング・ゼネレーション』。駅ビルで総菜を買って帰宅。入浴。サラダで晩酌。総菜のカツをカレーにのせていただく。満腹して爆睡。起きて映画『ミュンヘン』を観る。随分細かいカット割りでも落ち着かないが、ヤヌス・カミンスキの画面は心地よい。全体としてはどうもピンと来ない内容。話と言うよりは演出か。だいたい、殺された選手団の回想映像と主人公のカットバックには無理があるし、それが映画全体の構成の問題でもあるように思う。

四月十二日(月)

11時半起床。雨。カレーをいただく。コンテキャプション打ち。15時から鍼。いつも通り、身体の表裏両面に鍼を打ち、電気を通してもらう。その後、全身を揺らし、肩を温め、傾斜台で脚の裏を伸ば



す。出社してキャプシオン打ち。17時からタワークレーンさんのBG
チエック。晩御飯は「四国屋」でたぬきうどん。キャプシオン打ちと
キャプシオン貼り付け。終電帰宅。雨はまだ降り続けている。入浴して、
晩酌。焼きそばをいただく。

四月十三日(火)

10時起床。晴天。今日は暖かい。焼きそばをいただく。国分寺から
タクシーでムサビへ。学内は新1年生が溢れているせいか、何だかフ
ワフワとしたムードが漂い、心なしか桜色である。今ゼミの学生と対
面。名簿上では18人。男は4人だけ。互いの自己紹介で終わらせる。
鷹の台まで歩いてみる。中央線のトラブルで国分寺で随分待たされた
上に、満員電車。足腰に負担が大きい。出社してコンテキャプシオン
貼り付け。晩御飯は「BUONO」でピザ。仮眠して再起動。キャプ
シオン貼り付け。終電帰宅。入浴。晩酌して刺身と豚汁で御飯。疲れた。
京子にマッサージしてもらって眠る。



五月十六日(日)

10時に目が覚める。しばらくの間、ストレッチ。晴天。かしわ汁でソバをいただく。脚と腰の痛みがひどい。一日中外に出ず。読書とマッサージ。コンテ合成を少し。晩御飯はハムとパン。豚のソテーを食べるつもりが食欲が湧かない。

F1モナコGP。セーフティカーが4・5回入る荒れ模様。ウエバーがポールトゥウィン、ベッテルが3位からスタートで順位を上げて2位、ルノーのクビサが3位。7位スタートのシューマッハは、ラストの周回でセーフティカーがアウトするタイミングでスツとアロンソをかわして6位。アロンソは予選時のクラッシュで最後尾スタートながら、見事なオーバーテイクショーと、機敏なタイヤ交換の判断で見事7位。脚と腰の痛みがづらい。

五月十七日(月)

11時起床。晴天。よく寝た。脚と腰の痛みは夕べよりはかなりまし



になっている。ストレッチを少し。モナコGPで最後の周回に追い越しをかけたシューマッハは、その行為でペナルティとなり12位降格。ありやま。食欲がいくらかある。昨日のハムとパン、それに玉子でホットサンドにして食べる。これは美味い。コンテ合成。脚の痛みは昨日よりましとはいえ、歩ける状態ではない。聡ちゃんに迎えをお願いする。17時からBG打ち合わせだった。失念。時間をずらしてもらう。車が来る間にもコンテ合成を少し。

出社してコンテ清書。18時にずらしてもらったBG打ち合わせ。晩御飯は「四国屋」で肉きざみうどん。食欲があるのは良いことだ。コンテ清書を続ける。23時前、会社を出て車で自宅まで送ってもらう。入浴。シャケとタラコで御飯を軽くいただく。

五月十八日(火)

9時半に目が覚める。ストレッチとマッサージ。晴天、今日も暑い。京子に回ってきてもらったタクシーでS病院へ。臍臓がんと判明。



あちこちの骨に転移しており、手術は無理。放射線治療も無理。抗ガン剤で対処するにしても、余命幾ばくもないらしい。悲しいと言うより、残念だ。47年かそこらで退場とは、やれやれ随分短い人生だな。自分のことより、残していく京子があまりにかわいそうだ。両親に対しては申し訳ない気持ちでいっぱい。『夢みる機械』のスタッフに対して本当に申し訳ない。みんな、ごめんね。

抗ガン剤などを処方してもらい、薬局で受け取る。タクシーで帰宅。京子の涙に泣けてくる。ラーメンを食べて、薬を飲む。根治は願うべくもないが、せめて生きていられる時間を延ばしておくれ。強めの鎮痛剤のおかげか、身体の痛みは随分と楽になる。死ぬための準備をあれこれ考えてメモする。京子と散歩。

以下、死ぬまでの記録として。

